

ひとり情シスの I です。

今日は、N 値補正の画面の修正で、修正前の N 値を画面上に表示させるようにしてみた。修正後の値を入力させるにしても、修正前の値も別に残しておかないと、どこをどう変えたのかわからなくなるからだ。修正した画面を以下に示す。

各孔補正N値入力

業務年度: 令和元年度(2019年度)

(業務番号)業務名: (19008)〇〇川北線 (B改) 交付金工事 地質調査委託

孔グループ名: --この業務の孔グループはありません--

孔番号: R1_B-1

補正N値入力

柱状図土質深度+地層名読込

	開始 深度	終了 深度	地層名	N値		貫入量		N値		貫入量		合計 N値	30cm 換算N値	内訳
				10cm	10cm	20cm	20cm	30cm	30cm					
1	1.15	1.45	3:上位段丘砂礫層(Tr-g)	10	10	12	10	10	10	10	10	32	32.0	
2	2.15	2.19	3:上位段丘砂礫層(Tr-g)	50	4							50	375.0	
3	3.15	3.36	3:上位段丘砂礫層(Tr-g)	15	10	30	10	5	1	50	1	50	71.4285	
4	4.15	4.45	3:上位段丘砂礫層(Tr-g)	8	10	9	10	9	10	26	10	26	26.0	
5	5.15	5.45	3:上位段丘砂礫層(Tr-g)	10	10	13	10	13	10	36	10	36	36.0	
6	6.15	6.45	3:上位段丘砂礫層(Tr-g)	10	10	17	10	19	10	46	10	46	46.0	

後は、修正 N 値を入力したときの入力チェックや、修正 N 値を保存するテーブルの定義が必要となるが、それはまた明日で。

今日はこれまで。